



巻頭言

一般社団法人 日本照明工業会
専務理事 内橋 聖明

日本照明工業会の自主統計によると、2018年度の照明器具出荷台数におけるSSL化率（年度平均）は97.5%と伸長したが、LED照明器具出荷台数は、対前年100%、直近4か月（2018.12～2019.3）では対前年比95.9%と大きく下回った。これまで過去17年間、右肩上がり伸長してきたが、明らかに成長の鈍化が見られます。

LED照明製品が普及し始めて丁度10年が経過し、もはや省エネ目的だけのLED製品の伸びは期待できなくなってきました。今後、住宅着工件数の減少など、市場を取り巻く環境は不透明であり、照明器具の出荷台数が減少していくリスクを念頭に置いた事業戦略を立てていく必要があると考えます。

このような背景のもと、次の10年に向けた照明成長戦略「Lighting Vision 2030」を策定し、昨年度（3月5日）に公表致しました。

“CSL(Connected Smart Lighting: 様々なモノ、コトにつながるインテリジェントなあかり) &

HCL(Human Centric Lighting: 人にやさしい、安全・快適・便利なあかり)”の普及を通し、2030年照明器具ストック市場におけるSSL化率100%を目指し、「あかり文化の向上と地球環境への貢献」をビジョンとして設定しました。ビジョン達成の為の重点課題として、次の3つの方針を掲げました。

(1) “Connected Industries”によるパラダイムシフトへの対応

(2) あかりの質向上とSDGsへの貢献

(3) グローバル化・ボーダレス化への対応

2019年度日本照明工業会事業計画に、この3つの方針に対して、具体的実行項目を盛り込んでいま

す。

(1)については、先進技術を活用した“Connected Industries”による様々なビジネスモデル、社会の変化に対応する為、分野を超えた異業種との連携、標準化等、事業環境を整備するとともに、それに適応する工業会組織体制の整備・強化に注力します。

(2)については、“CSL & HCL”の普及を通じて、新たな機能の創出、あかりの質向上による新たな空間価値、新たなビジネスモデルを創造することにより、照明器具のリニューアルを促進し、ストック市場におけるSSL化率100%という目標達成に貢献します。また、消費者の照明に対する意識を変えて頂く特別リニューアルキャンペーンの実施など広報活動に注力します。

(3)については、新興国での人口増加と中産階級の増加に伴い拡大する世界照明市場への参入及び事業拡大のための環境整備と日本照明製品のPRに注力していきます。また、LED製品普及による製品のグローバル化・ボーダレス化により、日本市場にマッチしない海外輸入製品の増加が予想され、更なる市場監視体制の強化を行って参ります。

今年度から（一社）日本照明委員会を吸収合併したことにより、標準化におけるハードとソフトのシナジー効果に期待しています。更に、（一社）照明学会との協力関係も強化し、「あかりの質」「光影響」について追及していきたいと考えています。また、今回の合併によりJLEDS様も当工業会の賛助会員になって頂きました。更に協力関係を強化し、共に業界発展の為、尽力して参りましょう。

Lighting Vision 2030を推進していくには、照明メーカー、関連団体、関係省庁等との連携はもとより、他分野、異業種との連携も重要となってきます。LEDへのパラダイムシフトが終わり、次の10年は、“Connected Industries”という更に大きなパラダイムシフトが始まろうとしています。この大きな変化に対応しながら照明産業の発展に貢献して参りたいと思いますので、今後とも皆様方のご支援、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

企画運営委員会の主な活動

A. 2019年度企画運営委員会活動計画

1. ミッション

理事会で議決または報告を要する事項ならびに、他の委員会に属さない事項を審議する。

2. 各分科会活動計画

今年度は、下記3つの分科会で活動し、会議は全体会議の中で合同にて推進する。

1) JLEDS 活動の方向性分科会

・目的：一昨年前より従来の「LED照明」から、「LED + α 」に軸足をシフトするものとし、活動を行ってきました。

・内容：2年間の活動を総括し今後の活動の方向性について再度議論を行う。

2) 海外情勢等調査分科会

・目的：「LED + α 」へ軸足をシフトすることから、これに見合った海外を含めた最先端情報の調査にシフトしていく必要がある。

・内容：「LED照明」主体の展示会での調査ではなく、LEDの活動領域全般の最先端情報を入手する必要があるため、ここ2年間と同様「アジア主体」から、「欧米主体」の調査へと変更し継続する。展示会以外にも関連情報を収集し会員企業へフィードバックを検討する。

3) 新企画事業検討分科会（技術委員会共同事業）※研究資金助成事業

・目的：LED関連（固体光源含む）の新しい分野のシーズ探索や開発を行い、JLEDSの新しい活動の方向性や可能性を探り、JLEDS会員企業の新しい事業分野の開拓に寄与する事を目的とする。

・内容：昨年度に続きLED関連（固体光源含む）の新しい分野を開拓する可能性のある研究に対し、大学等への研究資金助成事業を行う。資金助成に当たっては、審査方法や体制、基準などを明確にして透明性確保が必要である。前半は助成先の調査と共に、昨年度の制度内容を必要に応じて見直し、見直しが整い次第助成事業を実施する。

B. 現在までに、2回の委員会の開催、7月開催の日経とのシンポジウムのための準備会合、また昨年度に続き研究助成事業の構築と課題採択を中心に活動した。

1. 4月26日（金）第1回企画運営委員会

1) 5月14日（火）開催の総会議題等の討議

2) 2019年度研究助成事業の実施内容の検討

尚、当日は合わせて第1回広報委員会、LED照明シンポジウム2019の企画会議（日本経済新聞社様、広報委員会出席）を行いました。

2. 5月14日（火）10:30~12:00 JLEDS 総会

昨年度の活動内容の総括と、今年度の計画を説明。

3. 5月17日（金）LED照明シンポジウム2019企画会議

日本経済新聞社様、広報委員会出席のもと、プログラム内容、当日の進め方の確認を行った。

4. 6月21日（金）第2回企画運営委員会

1) 海外情勢等調査分科会の一環となる海外視察内容（出張先、出張者）の討議を行い、今後のスケジュールを決定した。

2) 日本経済新聞社要請の台湾ディスプレイ展示会へのセミナー講師派遣の検討

3) 2019年度研究助成事業の採択課題の検討

申請のあった課題について、新規性、将来性、事業性等の事前検討結果に基づき、討議選定候補の絞り込みを行った。委員会終了後開催された第1回理事会で課題採択が行われた。尚、当日は合わせて第2回広報委員会、第2回シンポジウム企画会議（日本経済新聞社様、広報委員会出席）を行いました。

4) 10月18日（金）開催のH30研究助成事業結果報告会の実施内容について討議、決定。

会場はJLEDS会議室。会員企業に出席頂き、採択課題研究者7名から研究成果について報告頂く事になった。現時点15分発表、5分質疑応答の予定。

（委員長 神林洋治 / ウシオライティング（株））

2019年度JLEDS研究助成課題の募集実施

この度JLEDSでは、昨年に引き続き下記のような内容で5/20募集を開始し6/14応募締切りました。

応募頂きました研究機関の皆様にはありがとうございました。近日採択結果お知らせいたします。

応募概要『JLEDSでは、LED関連（固体光源を含む）の研究開発に関係する大学や研究機関の研究者を対象とした研究助成金制度を創設しました。

この制度は、次の2点を目的としたものです。

①新しい分野のシーズ探索や研究開発を促進して関連業界の発展に貢献すること、②JLEDSの新しい活動の方向性や可能性を探ること、JLEDS会員企業の新しい事業分野の開拓にも寄与すること。

対象となる研究分野は、Ⅰ. 原材料・パッケージ材料、Ⅱ. 単結晶・基板、Ⅲ. 製造・検査、Ⅳ. ウエハ・ベアチップ、Ⅴ. 光半導体デバイス、Ⅵ. モジュール・応用、Ⅶ. 組込部材で、助成金額は1件あたり100万円まで、対象となる研究期間は2019年7月1日から2020年3月31日迄となっています。』その他の詳細は募集を締切っているため割愛させていただきます。

広報委員会の主な活動

1. 2019年度広報委員会活動計画

今年度も前年度と同様に4つの分科会で活動します。

1) LED照明シンポジウム分科会

・LED照明シンポジウム2019の企画推進と実施

・JLEDS活動の方向性（分野）である「LED + α 」にも視野を広げ、照明分野を包括しつつ、そのコントロール

応用分野とLEDの用途拡大、素材系への拡大を見込む内容で設定する。

- ・引続き日本経済新聞社との共催事業とする。
- ・実施時期は例年より2か月前倒しの7月19日(金)、会場は日経カンファレンスルームとする。

(H30年度は9月7日)

2) 会員研修会分科会 (JLEDS セミナー)

- ・主に会員企業を対象とし、施工関連情報の紹介やその時のトピックなどのテーマを取り上げ、会員各位の業績改善等に寄与できる情報を提供する。
- ・広報委員会主催セミナーの参加者減少を踏まえ、技術委員会主催セミナーと合同で開催するなど連動を図りコンパクトな運用を行う。会場については、東京のほか、大阪での開催を予定して活動する。

3) 展示分科会

- ・日本経済新聞社との共催を1件予定。2020.3 LED NEXT STAGE 2020 (東京ビッグサイト)
- ・対外展示会への出展を1件予定。2020.1 LED JAPAN 2020 (東京ビッグサイト)
- ・展示会やイベントに主催者の要請に応じ、パネル展示・展示ボックスなどを展示実演し、LEDの特長とJLEDSをアピールする。
- ・その他年度内に出展等の要請・依頼があるイベントについては都度委員会で検討、確認する。

4) ホームページ分科会

- ・ホームページは、2019年度についても自前での維持対応を主体とするが、必要に応じ改訂も行う。各分科会は広報委員会内で合同にて行う、又必要に応じ他の委員会からの委員に参加頂き幅広く意見を集め会員企業のニーズの抽出を目指す。

2. 現時点までに下記の委員会活動を行った。

1) 広報委員会 (企画運営委員合同会議)

- ①第1回広報委員会 2019.4.26 開催
- ②臨時広報委員会 2019.5.17 開催
- ③第2回広報委員会 2019.6.21 開催

主に広報委員会主催JLEDSセミナーのテーマ、講師、実施内容について討議した。

2) シンポジウム企画会議 (日本経済新聞社・企画運営委員合同会議) 2019.2 から先行して開催

- ①第3回シンポジウム企画会議 2019.4.26 開催

②第4回シンポジウム企画会議 2019.5.17 開催

③第5回シンポジウム企画会議 2019.6.21 開催

7/19開催のLED照明シンポジウム2019のテーマ、講師、実施内容について討議した。

3. 開催予定のご案内

1) LED照明シンポジウム2019概要

開催日: 7月19日(金) 13:00 ~ 16:40

会場: 日経カンファレンスルーム (東京)

テーマ: 『『ヒカリ+α』で変わる未来』

基調講演: 「未来を変えるものづくり~ヒット商品づくりのコツ」サイバー大学 北村森教授

講演1: 「ZEBからウェルネスへ~期待される照明」

大林組 小島義包様

講演2: 「スポーツ演出照明の課題と未来~国内外の最新事例を中心に~」

シグニファイジャパン 青木総一郎様

講演3: 「半導体レーザーの高出力化に伴う応用展開について~水中可視光通信の可能性~」

島津製作所 坂本隼規様、佐藤恵子様

講演4: 「ヒューマンセントリックライティングのグローバルトレンドと照明の目指す未来」

グローバルインフォメーション 沖本真也様

JLEDSのホームページから参加申込をお願いします。(事前登録7/5締め切り)

2) JLEDSセミナー概要 (講師及びテーマは現在調整中で近日HPにて公開予定です)

開催日: 8月2日(金) 13:30 ~ 16:45 予定 (受付13:00~)

会場: JLEDS会議室 (東京) 講演1: (仮) プロジェクションマッピングテーマ調整中 大阪大学 岩井大輔准教授

講演2: (仮) デジタルサイネージテーマ調整中 デジタルサイネージコンソーシアム様

講演3: (仮) 「日本の夜景とLED照明」夜景評論家 丸々もと様

JLEDSセミナーの詳細内容及び参加申込は後日掲載のJLEDSのホームページにて確認をお願いします。みなさまのご参加を心よりお待ちしております。なお、2020年2月には関西にて開催予定です。

(委員長 千田昌伸 / 豊田合成(株))

技術委員会の主な活動

A. 2019年度技委員会活動計画

1. 技術委員会の進め方

- ・AグループおよびBグループの2グループとする。
- ・会議は原則として技術委員全員参加の全体会議とする。

2. テーマ

テーマとしては「LED+α」とし、LED照明以外のテーマを多くとり入れる。

2.1 「LED照明の使いこなしのポイント改定版」の最終確認。

2.2 LED及びLEDの応用及び動向

- 1) LED照明、ディスプレイにおける応用、デザイン
- 2) LED、有機ELの作り方と応用。

μLED、量子ドットLED、有機EL、UV-LED、IR-LED等の作り方と応用

3) LED照明機器等の材料(樹脂、シート、蛍光体等)。

4) 規格の動向

2.3 その他(LED+α)

- 1) オフグリッド照明・・・太陽光発電を利用し照明、

防犯等災害対策を含める。2) 光通信、殺菌、自動車等への応用。3) 医療向け用途。4) その他

3. グループの主な業務

1) Aグループ (19A)

・従来通りセミナー主体とする。
・前年度テーマの「LED照明の使いこなしのポイント改定版」についてもセミナーを行う。

2) Bグループ (19B)

「LED照明の使いこなしのポイント改定版」の最終確認。上記2項を踏まえテーマを決定する。

4. その他

企画運営委員会と共同で今年度の新規事業である、大学や研究機関等への助成事業テーマの結果報告会としてセミナーを実施する。

B. 現時点迄の今年度の活動状況

1. 2019年度第1回技術委員会 2019.5.17開催

1.1 分科会：Aグループ：調査・会員サービス

1) 下記、技術委員会主催 JLEDS セミナー開催推進

①フルセミナー (午後3本) 9/20 (金)、11/22 (金)、

1/24 (金) の3回を計画

現在、テーマ、講師案の検討を進め、順次講師への講演依頼調整中

②ミニセミナー (夕方2本) を7/26 (金) 15:30～16:45 開催予定

大塚電子様に計測技術について、サイバネットシステム様に計測結果などを用いたシュミレーションソフトなどの紹介解説頂く予定で、詳細はHPに参加募集案内を掲載しておりますのでご参加をお待ちしております。当日は13:00から第2回技術委員会開催予定です。

1.2 分科会：Bグループ：調査、研究

1) LED標準電球は産総研に評価を依頼しJLEDS内評価と併せて結果報告書をまとめる予定。

2) LED照明の使いこなしのポイント改定実施

①現在担当者改定分を原紙にフィードバック中 (7月初め完成予定)

②LED照明の使いこなしのポイント改定版」の完成と技術セミナー開催予定。 (委員長 星野房雄)

事務局からの報告

【事業活動報告】

1. 理事会・総会関係

'19/5/14 第1回総会開催

第1回総会では、以下の内容が審議され議決承認されました。

第1号議案 平成30年度の事業報告 (実績)

第2号議案 2019年度の事業計画 (案)

第3号議案 2019年度収支予算 (案) 及び平成30年度決算報告



< 総会 (5/14) 会場風景 >

'19/5/17 臨時広報委員会

'19/6/21 第2回企画運営委員会

'19/6/21 第1回広報委員会

3. 顧問団体連携会議

'19/5/17 第1回顧問会議

4. LNS 企画会議 (日本経済新聞社共同開催)

'19/4/26 第3回LNS企画会議

'19/5/17 第4回LNS企画会議

'19/6/21 第5回LNS企画会議

【その他の活動報告】

1. 関係団体活動参加

'19/4/17 照明学会東京支部幹事会

'19/5/23 日本照明工業会総会～春季懇親会

'19/6/14 照明学会 総会～情報交流会

'19/6/17 日本照明工業会 LED光源技術分科会

'19/6/25 日本照明工業会 第16回会員連絡会

2. 他団体への会員登録 (2019.4.1より) について

①一般社団法人日本照明工業会：賛助会員

元々会員だったJCIE/日本照明委員会のJLMA/日本照明工業会との合併に伴う移行入会

②特定非営利活動法人日本フォトニクス協議会：法人正会員

JLEDSの今後の活動の方向性検討を目的に情報収集、関連企業、大学等との交流の為

Japan LED Association

JLEDS NEWS / 第43号

内容に関するご意見、ご質問はJLEDS事務局までお寄せください。
本書の内容を無断で複写・複製・転載することを禁じます。

発行 2019年7月1日

発行人 小紫正樹

発行所 特定非営利活動法人LED照明推進協議会

〒105-0003 東京都港区西新橋一丁目5番11号

第11 東洋海事ビル6階

TEL (03)3592-1382 (代) / FAX (03)3592-1285

URL <http://www.led.or.jp/>

E-mail info@led.or.jp